

どれだけ知ってるかな？
詩の知識

詩の種類

詩	詩	詩
事実や事件をうたった詩	風景を写生的にうたった詩	作者の感情を主観的にうたった詩

内容

詩	詩
口語(現代で使われている言葉)で書かれた詩	文語(古典文学に使われている言葉)で書かれた詩

文体

詩	詩
音数にとらわれない詩	音数に一定の決まりのある詩

形式

詩	詩
文章(散文)のかたちで書かれた詩	文章(散文)のかたちで書かれた詩

表現技法

比喩法(対象をほかのものにたとえて印象を強める)

「〜のように」「〜のごとく」などの語を用いて、直接的にたとえる。
「〜のように」を用いず、たとえるものとたとえられるものを直接結ぶ。
人でないものを人に見立てて表現する。
物が出す音や声をたとえた言葉。
物事の様子をたとえた言葉。

語句の順序を変えて意味や印象を強める。
同じ言葉を繰り返し返し、印象を強める。
形の似ている語句や意味の似ている語句を並べてリズムを整え、印象を強める。
同じ音や似た音を、行の初めや終わりなどに置き、詩のリズムを整える。
述語などの一部を省略し、余韻を残す。
うたの末尾を体言(名詞)で止めて余韻を残す。
対象や読者に呼びかけ、身近な感じを強調する。

覚えておこう 詩の知識

詩の種類

内容		
叙事詩	事実や事件をうたった詩	
叙景詩	風景を写生的にうたった詩	
叙情詩	作者の感情を主観的にうたった詩	
文体		
文語詩	文語(古典文学に使われている言葉)で書かれた詩	
口語詩	口語(現代で使われている言葉)で書かれた詩	
形式		
定型詩	音数に一定の決まりのある詩	
自由詩	音数にとられない詩	
散文詩	文章(散文)のかたちで書かれた詩	

表現技法

比喩法(対象をほかのものにたとえて印象を強める)

直喩法 (明喩)		「〇のように」「〇のごとく」などの語を用いて、直接的にたとえる。
隠喩法 (暗喩)		「〇のように」を用いず、たとえるものとたとえられるものを直接結ぶ。
擬人法		人でないものを人に見立てて表現する。
擬音語 (擬声語)		物が出す音や声をたとえた言葉。
擬態語		物事の様子をたとえた言葉。
倒置法		語句の順序を変えて意味や印象を強める。
反復法		同じ言葉を繰り返し返し、印象を強める。
対句法		形の似ている語句や意味の似ている語句を並べてリズムを整え、印象を強める。
押韻		同じ音や似た音を、行の初めや終わりなどに置き、詩のリズムを整える。
省略法		述語などの一部を省略し、余韻を残す。
体言止め		うたの末尾を体言(名詞)で止めて余韻を残す。
呼びかけ		対象や読者に呼びかけ、身近な感じを強調する。

